

山形・北村山便り 平成25年8月12日

6月の気象は気温が高く、小雨多照のため、反動を懸念したのですが、入梅が遅く7月になり、ぶり返しどころか、大雨が多く入り稀に見る多雨少照となりました。

特に、7月17日から18日にかけては、村山市楯岡、尾花沢市尾花沢 ともに100mmの大雨となりました。
(鶴岡136mm 山形110mm)

山形県を縦断する最上川(230km全国第7位)は著しく水位が上昇し、県内各地で洪水やがけ崩れ、田畑樹園地の冠水・浸水が出ました。

北村山郡も鶴岡(市町村合併で皆、鶴岡と酒田になってしまいました。)、置賜ほどの面積ではありませんが、水稲140万㎡、大豆15万㎡のほか、おうとう、すいか、さといも、アスパラガス、各1万㎡ 計200万㎡以上が冠水・浸水被害を受けました。水稲は冠水が長いところで1日~2日で、もっとも水害に弱い時期からずれていたことから、収量の低下はそれほどでもないと見られます。さくらんぼとアスパラガスは収穫期を過ぎていますので、来年に向けての管理となります。大豆や里芋は異常気象で生育の遅れているものへの影響が大きいものと見られます。

須田



平 25.7.18 日中 桜桃園 浸水

水田 浸水冠水



平 25.7.19 大豆 浸水冠水

水田 冠水浸水



平 25.7.18 右最上川本流 左果樹園・畑・水田の冠水